

巡回監査体制再構築PJ主催 「巡回監査支援システム①」に参加して

【日時】令和3年11月11日(木) 14:00~17:00

【会場】TKC近畿京滋会研修センターを拠点とするWeb配信

滋賀支部 鈴木 智博

私は、父の話を聞くのが苦手である。正確に表現すると、父が講演やスピーチなどで人様へお話をしているのを目の前で聞いていると、気恥ずかしい。それに、言い間違えたりするのではないかとハラハラするので、できればその場に立ち会いたくないのだ。それは、父も同じらしく、私が一言挨拶をしなければならないような会合に出席するのは極力避けている気がする。



どこの親子関係も似たようなものだと思っていたので、今回の巡回監査支援システム①の研修会の案内チラシに、三須宗次先生(父)と三須友晶先生(子)のお二人のお名前が講師として仲良く並んで書かれていたのにとっても驚いてしまった。その驚きをもって研修会に参加したのだが、実際に受講してみると「やはりこのお二人の研修最高!」と心の中で喝采を叫ぶ内容だった。

強い事務所を作るには巡回監査体制の構築を。巡回監査体制の構築のためには、まずは初期指導というところで始まったこの巡回監査体制再構築PJ。今回の研修は初期指導の次のフェーズに移って、「巡回監査支援システムを使いこなすことで巡回監査の精度を高めていこう!」というものだった。

巡回監査の話となると、やはり「京滋会のミスター100%」こと三須宗次先生が研修前半を話していたのは当然である。当たり前のように「うちは翌月巡回監査率100%」とお話をされたのが、やはり印象に残る。80%でも90%でもなく100%。この差は恐ろしく大きい。もちろんそこに至る過程には強い努力と困難があったはずだが、なによりも飄々とお話しされていればこそ、三須宗次先生のTKC理念への強い信念とTKCシステムへの深い信頼がビシビシと伝わってきた。そして、私たち会員へ「TKC事務所の所長として、翌巡を100%の決意はありますか?」とやさしくも厳しく問いかけられた気がしたのだ。

研修後半は、三須友晶先生による巡回監査支援システムとOMS活用のポイントの話。前半の三須宗次先生の話に「皆さん、腰が引けてませんか?大丈夫ですよ。簡単ですから。」とフォローする優しい気遣いに、みんなから人気があるのも頷ける。冒頭で、巡回監査支援システム導入の効果は、「業務の標準化と業務の効率化の2つ」との明快な話に一気に話に引き込まれる。システムメニューの監査項目の解説の時には「関与先別特記事項は、しっかり記載しておいてもらおうと、監査担当者の変更の時には引継ぎ書代わりになって便利です。」などのヒント満載の事務所のノウハウを惜しみなく披露していただき、改めて「ミスター100%」事務所の歴史に触れた気がした。

親子2代にわたっての翌月巡回監査率100%の承継。これができたのもTKCのおかげ。「TKCで良かった!」三須宗次先生はそれを伝えたくて、少し恥ずかしいながらもこの研修の講師を引き受けてくださったのだろう。お二人にあらためて感謝申し上げるとともに、私たちも「TKCでよかった」と思える日が来ることを信じて、キャズムを越えていきましょう!